# Vol.36　ウォーキング・ベース&コード・コンピングを弾いてみる

『10 分トレ』vol.36、始めていきましょう。

今回は、タイトルにもある様に、「ウォーキング・ベース」と「コード・コンピング」を組み合わせたものを弾いてみましょう。

「コンピング」とは、ジャズ等で行われる、ピアノやギターで行うコード・バッキングの事ですね。

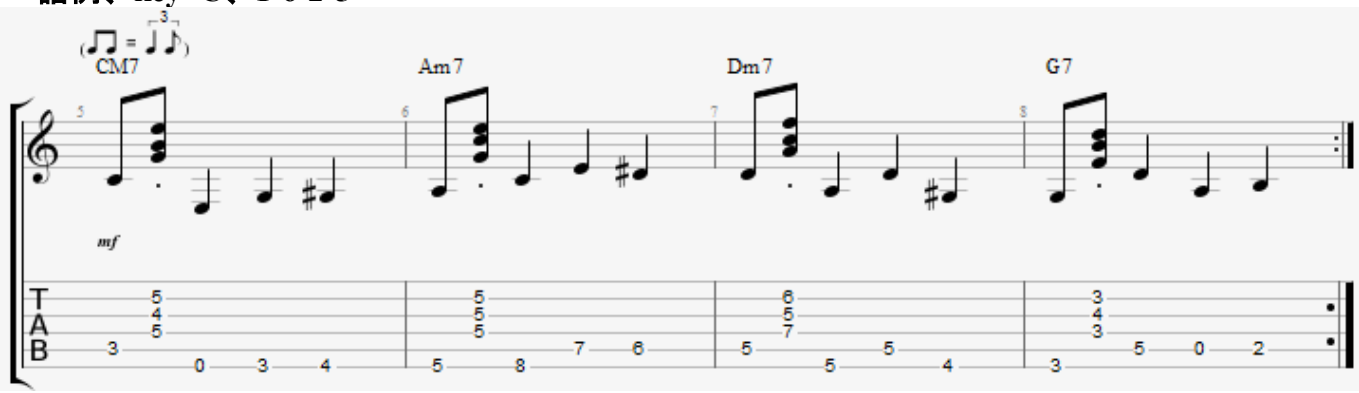
ベースラインの基礎もある程度学んだので、それを生かして取り組んでみて下さい。

毎度のことながら、キーは C、コード進行は 1-6-2-5 です。

弾き方は、ピック+指でも良いのですが、親指で弾くベースのトーンが丸くなるので、完全なフィンガースタイルの方がお勧めです。

それでは、譜例は以下になります。

**譜例、key=C、1-6-2-5**




ベースラインは最近学んでいたように、1、3、5 度を主に使い、他に次のコードへのアプローチを入れていますね。

コンピング部は、五線譜の方にスタッカートを付けている様に、短くパッと音を切る事を意識します。

コンピングは 3 音を同時に鳴らしていますが、音が多いと重くなり過ぎる事もあるので、2 弦の音を抜いて 2 音で弾いても良いでしょう。

こう言ったものを弾くとき、最初は、「ベースの動きに対してどの指をどの様に使うのか？」を決めた方が良いですね。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

コンピング部(コード部)をスムーズに押さえられるように、ある程度、指使いの計算が必要になってきます。

「次の動きは、近くにある指で済むのか？、左手全体を移動させる必要があるのか？」を考えてみましょう。

最初は難しく感じるかもしれませんが、慣れてくると、いつの間にか、コードの流れに対して自然に判断出来るようになりますので。(※これは「パターン化」出来ていると言った方が良いかもしれません)

この手の演奏は、主にジャズやブルースで聴けるものです。

興味のある人は、ギターだけではなく、ベースやピアノも聴いて研究してみて下さい。

後は、このテキストで取り上げているものとは違うコード進行でも演奏してみましょう。

では、今回以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved 